

2018年11月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 高橋 治
 編集責任者 白江 浩
 編 集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

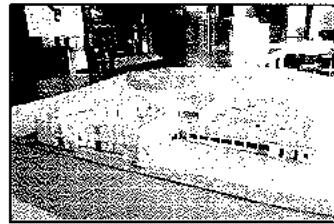
1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2018年11月9日発行 SSKO通巻第10059号

ご寄付のお願い

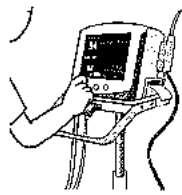
当法人は皆様の寄付金が大きな財源となり、書籍の出版、生活福祉講座や自立大賞など独自の啓発運動を続けて参りました。また、自立ホームや難病ホスピス、そして現在建設中の亘理ありのまま舎等、難病や重度障害を持つ方の生活の場所の運営を30年以上に亘り続けております。東日本大震災後より活動の主な資金となる寄付金が減少し、遺贈のご寄付を除くと半分以上となり大変深刻な状況となっております。ネットを通して気軽に寄付が出来る仕組みができて、その種類も増えている中で、自分たちの活動を広め、ご理解いただく努力が足りなかったのかも知れないと深く反省しています。

私たちが取り組む難病の方々への支援については、現在331疾病が指定難病(医療費助成対象)になりました。難病は様々な疾病があり、おひとりおひとり異なった症状で個別の配慮が大変重要です。医療的ケアが必要な方もおられます。多職種の連携が不可欠で人件費が年々大きな課題になっていきます。平成31年3月、私たちは「亘理ありのまま舎」の開設を控えています。資金が困難な中でのご決意に批判もあるかもしれませんが、しかし、住み慣れた地域で暮らしたい希望があっても、日中通える場所がない、自宅に訪問可能なヘルパーさんが不足している、緊急の時に一時的に入居できる場所がないなど不安を抱えている方々の声を聞きました。また津波で大きな被害があった場所です。災害や困った時に地域住民の方がいつでも誰でも利用できる場所としてのケアコミュニティの役割をしっかりと担ってほしいと思っています。

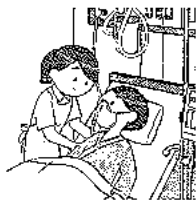
また、難病ホスピスにおいても、開所後24年が経ち、重度・重症化で医療的ケアが必要な入居者が増えています。酸素を使用するために必要な中央配管は経年劣化に伴い既に入替の時期となり、モニター心電図も不足している状況です。大変心苦しく思いますが、私どもの思いを少しでもご理解いただき、ご寄付のご協力を賜りたく、どうかお力をお貸しくください。(寄付金控除はP8をご覧ください)



亘理ありのまま舎



一心電図モニター
離れた場所でも長期的な観察ができる。



中央配管に接続することで必要な酸素がいつでも吸入できる。

薫る風

北海道胆振地震で、建物に大きな被害を受け、全入居者が避難し、別の場所に建て替えが決まった障害者支援施設の被災時の話を伺った。夜中の職員が少ない時間帯にけが人もなく、皆が無事避難し、その日のうちに別の施設に避難できたのは、日ごろの訓練と普段からの施設間の連携・交流があったからだと、強く感じた。

施設内の避難訓練はどこでも行われているが、他施設との共同訓練や交流等は、太白ありのまま舎では、過去に二度ほど行っただけだ。お互いに顔が見える関係と相互信頼があれば、避難における迷いや不安は、大きく軽減される。地域事情や歴史的経緯はあるとしても、大いに学ぶべきことだと痛感している。東日本大震災を経験しながら、今なお備えが十分でないことを反省している。備蓄物資やライフラインへの対応、ハード面の備えばかりに意識が行き、避難時のあり方を問いつつも、具体的な準備と計画が足りないことを改めて学ばせて頂いた。まだまだ万全とは言えない。早めの避難ができたとしても、実際に被災し、生命避難が長期化した場合に最も必要なのは、精神的に落ち着いて安心して過ごせる「環境」だ。様々な「障害」や「病気」があれば、それは尚更だ。

そして、それは一朝一夕には作れない。今回は他施設との連携が、それを実現したが、地域によっては地域住民との日常的関係性がその成否を決める。これまでの教訓もそのことを如実に語りながら、生かされず同じ反省と後悔を繰り返してきた。成功例より失敗例の方が圧倒的に多かった中で、今回の学びは大きい。また、公助(国や自治体による支援)に頼り切る体質から、互助・共助による体制づくりが本当に大切だと思った。日ごろからの相互信頼なしに、本当の意味で生命は守れないと強く思った。(白江)

第5回ありのまま舎後援会主催 マリンバ&ピアノコンサート 10月20日(土)

今年もありのまま舎後援会が主催するコンサートが難病ホスピスにて行われました。

ありのまま舎がどんな活動を行っているのか後援会員のみならず、多くの方に知っていただく機会を作りたいという発想から企画が始まったコンサートです。今回は仙台市内で活躍されている鶴岡たみ子さん(マリンバ)、古賀望子さん(ピアノ)をお招きしました。

マリンバをたたくマレットは様々な大きさがあり、会場に合わせてマレットを変えること、種類ごとに色とりどりの毛糸で手巻きをしていることなどお話をいただきました。また大きなマリンバは5オクターブあり、3メートルの大きさのものがあるとお話しがありました。

古賀望子さんは初代ありのまま舎理事長 齊藤久吉先生のお孫さんにあたり、小さな頃からありのまま舎と関わりを持ってくださり、昨年のコンサートでも演奏いただきました。演奏会ではテレビ等で聞いたことのある曲やマリンバのリズムに合わせる曲やマリンバの良い曲が多く、元氣の出る愉快な演奏会となりました。

コンサートの前後には見学会を開催し入居者やスタッフと触れ合いながらありのまま舎の活動を知っていただく機会になりました。

ありのまま舎とを結ぶ貴重なコンサートにご協力くださった演奏者の皆様に心より感謝すると共に、ありのまま舎に足をお運びくださった地域の皆様にも感謝申し上げます。(事務局 佐藤)



トークを交えた素敵な演奏会でした

皆様へ

後援会長 後藤 東陽

ありのまま舎をお支えくださる協力者の皆様、入居者ご家族に対しましては心からの敬意と感謝を捧げます。

今は亡き総裁の寛仁親王殿下の御指導の下、昭和61年に後援会が組織され、殿下は理念を持って行う活動をしつかり継続するための資金面の確保

を大変重要視なさいました。そしてありのまま舎は西多賀から太白、亘理、名取とめざましい発展を遂げました。現在、県南エリアに新しい拠点となる「亘理ありのまま舎」の建設の実現に向けて着々と進行中です。

後援会員は現在に至るまで約半分以下の会員数に減少しています。その理由としては長年ご支援下さった方の高齢化に伴い退会される方が続き、また新しい会員の確保呼びかけが力不足の状況にあります。5年前から後援会コンサートを企画し、多くの皆様が足を運んで下さり定着しつつありますが、まだまだ会員拡大にはつながっておらず、大変残念な思いです。

「平和なくして福祉なし」
ぜひありのまま舎活動をご支援下さい。何卒宜しくお願い申し上げます。

【会員入会のご案内】

会員 (年会費)

個人一口 10,000円

法人一口 20,000円

賛助一口 3,000円

※会報「自立」同封の振込用紙をご利用いただいても構いません。(連絡先)

TEL022(243)1300

連載

県南エリア地域生活支援拠点への歩み⑩ 〜東日本大震災から現在へ〜

地域生活支援のための対応として、重要なことは、生活環境が変ってもこれまでの生活を維持継続できることだ。家族の状況が変わったり、ご本人の諸事情が変わっても、その人が望めばこれまでの生活が継続されることを可能にする体制が求められる。それは障害の有無に関係ないが、それがうまく自身で対応できない人がいる。その原因や理由に「障害」があり、いざという時に慌てず、日ごろから体制を構築しようと言ったのが、地域生活支援拠点の使命だ。緊急時のみならず、まさしく日常起こる様々な出来事への対応が求められる。

その仕組み作り方は地域によって、様々だ。大きく分けて2つに整理されている。一つは面的整備と言われ、中心となるコーディネート機能と地域にある様々な支援資源がネットワークを組み、連携して対処しようというものだ。もう一つは亘理町が選択された多機能拠点に諸機能を集中させ、更に地域の様々な支援資源とネットワークを組むものだ。

前者は地域に既に多くの支援資源が存在すれば、新たにネットワークを構築するにもスムーズで、資金も労力も少なくて済む。

後者は一か所の拠点での対応という意味で分かりやすいが、多くの資金と労力を要する。どちらを選択するかは、まさしく地域事情による。

いずれにせよ、緊急時も平時も、その地域での生活が充実し、安心して生活を送るための機能を有効に連携させ、セーフティネットを構築するかということになる。前回ご紹介した基幹相談支援事業所は、その中核になるコーディネート機能が求められる。多機能拠点はメリットも多いが、リスクもある。十分に機能できない事情が生じた場合の機能分散も併せて考えておく必要がある。多機能拠点と言っても面的整備は不可欠だ。課題は多いが実現したい。

(白江浩)



〔法人本部〕

就職フェア参加に向けて
「福祉の魅力」を伝えるには

11月4日(日)に就職フェア
inみやぎが開催されました。こ
のフェアは、誰でも気軽に参加
できる福祉業界の交流型会社説
明会で、就職活動に限らず、福
祉の魅力を伝えることをテーマ
としています。就職活動中の学
生はもちろん、それ以外の学生
も対象としており、出展法人は
20〜30代の若手職員の参加と
なっています。また、一般的に
会社説明会とは違い、私服推奨
のカジュアルなイベントとなつ
ています。イベント前には参加
団体に対する事前セミナーが開
かれ、フェア活用のポイントに
ついて説明がありました。セミ
ナーの中では法人の特徴や魅力
を改めて考える機会となりまし
た。ありのまま舎の理念と県内
でも数少ない医療的ケアが必要
な方、重い難病をお持ちの方な
どのサポートを長く行っている
ことを中心に、学生の皆さんに
ありのまま舎の魅力を発信でき
ればと考えました。

(石黒)

第32回
ありのまま生活福祉講座
講師が決まりました

来年度の講師と日程が決まり
ました。ぜひ貴重な講演会に参
加ください。

〔日時〕 6月15日(土)
13時半〜16時

〔場所〕 仙台市福祉プラザ
〔講師〕

こはやし たかし
小林 忠氏
岡田美術館 館長
美術史学者
あさの しろう
浅野 史郎氏
神奈川大学教授
TVコメンテーター
元宮城県知事
〇座長 彬子女王殿下の御講
話も賜ります。

テーマは「生活」「福祉」「文
化」。ユートピアたつぷりな語り口
が人気の小林忠氏、障害者施策
などに詳しい浅野史郎氏を講師
としてお招きします。受付開始
は間もなくです。

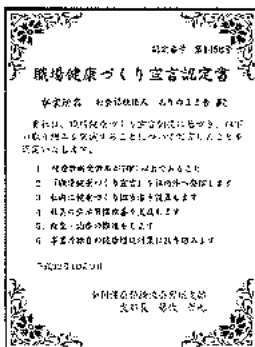
◆会員制度を設けております。
いつもまでも記録に残る抄録
と座長印、受講印を印字した
受講ノートがお手元に届きま
す。会員の皆様を大募集です。
(中村)

職場健康づくりを宣言!

当法人は職場の健康づくりを
宣言する事業所として全国健康保
険協会宮城県支部より認定を受
けました。近年、日本では社員
の健康を大切にすることで企業
の収入性を高める「健康経営」
が注目を集めています。

福祉関係においては利用者の
命や健康を守ることに携わって
いるスタッフは自らの健康管理
が大変重要です。法人一丸とな
ってスタッフの健康管理を宣言
し、実践していきたいと思いま
す。

1. 健康診断率70%以上であ
ること。
2. 「職場健康づくり宣言」を
社内外へ発信
3. 社内に健康づくり担当者
を設置
4. 社員の生活習慣改善を支
援
5. 検査・治療の推進
6. 事業所独自の健康増進対
策に取り組む



「自立ホーム仙台ありのまま舎
リビングセンター」

仙台市実地指導が行われ
ました 10月26日(金)

3年毎に行われている仙台市
による実地指導が行われました。
障害福祉サービス事業者が適正
な事業運営と必要なサービスが
提供されているかを確認し、サ
ービスの質の向上を図ることを
目的に行われています。

準備を行う上で日々行うべき
業務や記録がきちんとなされて
いるか、必要なマニュアルがよ
り実態に即したのものになってい
るかなど確認する機会にもなつ
ています。当日は3名の担当者
が見えられ、ホーム内の巡回、
個人情報管理の確認、一連の
書類や記録等の確認が行われま
した。今回は協力医の掲示につ
いて助言があったものの、特に
指導等はありませんでした。

講評の中で、「避難訓練の記録
は個別の避難方法が図で示して
あり詳細が伝わる内容であつ
た。」「ヒヤリハットの記載につ
いては経過、各部署の助言、今
後の対応について検討されてい
て良かった。」等、お話をいた
だきました。

日々変化のある入居者の様子
について常に見直しを行いなが
ら実態に即した対応と整備を心
がけていきたいと思えます。

(佐藤環)

地域のために、地域と共に、創業100年に向けて



株式会社 小野良組

代表取締役社長 小泉 進

本社 〒988-0017

宮城県気仙沼市南町四丁目1番11号

TEL 0226-22-2600 FAX 22-5737

仙台支店 〒980-0873

宮城県仙台市青葉区広瀬町8番12号パルポート広瀬306

TEL 022-262-5010 FAX 268-2633

【難病ホスピス 太白ありのまま舎】

ぶどうの会コンサート

10月4日(木)

鶴間順子理事のご紹介で、尚絅学院同窓生・ぶどうの会の皆様が来舎され、合唱コンサートを開いて下さりました。今年、ソプラノ演奏家、中野真奈美様が来舎され、ぶどうの会10名の皆様と演奏を披露して下さいました。

演奏がスタートした際には体調により準備が整わなかった入居者の方もおられ、遅れての参加となりましたが、徐々に集まり、25名が参加され、会場に入りきらないほどとても賑やかなコンサートとなりました。プログラムの中には、スタッフと入居者が一緒になって歌えるものも組み込まれており、ぶどうの会の皆様が先導して一緒に歌うことが出来て、それぞれ手拍子をしたり、自然と体を動かしながら楽しく歌われている姿が印象的でした。

コンサート終了後は、入居者がOT(作業療法)で作成されたアイロンビーズ製の猫のチャームを贈らせていただきました。入居者からは「歌声がとても素晴らしいかった」、「なかなか参加する機会がなかった為、今回素敵な演奏を聞く事が出来てとて

も良かった。」等の感想が聞かれていました。

また個人的にプレゼントを渡されている入居者もおられ、それぞれの方が色々と感じる事の出来たととても素晴らしいコンサートになりました。

毎年このコンサートが開催されると良いと思いましたが、ぶどうの会の皆様本当にありがとうございます。

(佐藤涼太)



一緒に歌いながら楽しいひとときでした



お寿司のご奉仕に感謝

10月16日(火)

今年も花の膳さんのご厚意により、「お寿司のご奉仕食事会」を開催することができました。花の膳様は宮城県内に5店舗を構える和食のお店で、心のこもった幅広い希望に添ったお料理のおもてなしを大切にされておられます。社長の石田様の長年のご意向で入居者の目の前で新鮮なお寿司を握り、その場ですぐに食べるのでできるご奉仕としてご配慮をいただいています。職人の方の中には福島や岩手の遠方からわざわざこの日のために来て下さった方もおられました。

入居者の半分以上が普通握りを召し上がることが難しいため、当日、花の膳様からネタや握りを分けていただき、厨房スタッフが食形態に合わせたお寿司の対応を行っております。中には普段お粥を召し上がっている方もこの時だけは酢飯を食べられる方もおられます。

入居者の中には、初めて参加される方もおられ、「お寿司を美味しく食べられるなんて嬉しい。」とおっしゃる方もおられ、なかなか外出の機会がないためお寿司屋さんで食べるような感覚を味わっていただけただけではないかと思えます。今年はこちらようど

テレビの取材も来てくださり、食事会の様子が放送されました。その後しばらく施設内ではその話で持ちきりになりました。

これから冬に入るにあたり、インフルエンザや風邪の流行に伴い、外出が制限され、ますます閉じこもりがちになってしましますが、こういった機会を設けて下さることに感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございます。

(石井)



目の前で握ったお寿司はおいしかったです



【サポートケア仙台ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】
相談者の中には、健康に生活していた方が病気により寝たきりになった方々がいます。今月はある2組のご家族についてご紹介いたします。

社会人だったAさんは体調不良から急変、寝たきりの生活になりました。お母様は毎日病院に通い、Aさんの体をさすり、声をかけていました。会話もやや困難になったAさんですが、お母様に「お母さんいつもありがとう」と涙を流しながら気持ちを伝えていました。

学生時代に病気になり、言葉での会話が困難になったBさん。両親は忙しい仕事の合間を縫ってBさんに会いにいらつしゃいます。お母様が言いました。「痛いと言えないこの子は、いっばい辛い思いをしてきた。これ以上苦しい、痛い思いはさせたくない。」と。

子が親を思い、親が子を思う。そこには深い絆と愛情があります。これからもそんなご本人、ご家族の思いに寄り添いながら支援していきたいと思えます。

(馬場)



「ご支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書き損じがき等】

18 9/24〜10/23

【「バザー提供」

18 9/25〜9/24

ありがとうございました。

(川尻誠)

「ポトルカンパありがとうございます
ございました(敬称略)」

18 9/24〜10/23
オカザキスーパー(青葉区)

3,687円

地域の方々にとりまして無くてはならないお店でしたが、残念ながら閉店されてしまいました。永年に亘りカンパポトルを設置頂き、本当に感謝の思いでいっぱいです。
(鈴木一彦)

【「バザー開催日のご案内」

11月】

20日(火)ヤマザワ茂庭店(太白区)

22日(木)鶴ヶ台生鮮いちば(宮城野区)

24日(土)あいのまのショップセル(仙台あいのま生鮮)

27日(火)袋原(向日整髪堂)

サポートセンター・太白区

《12月》

4日(火)ヨークハム山田鍋取店(太白区)

11日(火)ヨークハム南吉成店(青葉区)

13日(木)鶴ヶ台生鮮いちば(宮城野区)

18日(火)ヤマザワ茂庭店(太白区)

20日(木)ヨークハム新田東店(宮城野区)

「ご協力ありがとうございます
ございました(敬称略)」

【本部】

会報發送のための帯封の糊付けを、東北学院榴ヶ岡高等学校音楽部・仙台西高等学校JRC有志・個人の方々にお手伝いいただきました。

折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台市民教会・仙台北教会・仙台長町教会のみ

なさま、みやぎ生協のメンバーのみなさまの他、たくさんの方々の皆様にお手伝い頂きました。お陰様で全国のご協力者の皆様へ約6000通を無事にお送りする事ができております。

【自立センター】

バザー会場やショップセルでは、個人の方々にお手伝いさせていただいております。

【難病ホスピス】

仙台シルバーネットの皆様には、「読書会」を開いて頂き、秋の読書の季節に温かなサポートを頂いております。また、茂庭台ボランティアグループには、「気ままに書く会」を開いて頂き、宮城県車いすダンス協会には、車いすダンスの機会をつくらせて頂いております。

寒い時期に向かいますが、温かなお気持ちに心より感謝申し上げます。
(鈴木一彦)

「ありのまま会後援会(敬称略)」

18 9/12〜10/24

新規でご入会くださった方もおられます。ありがとうございます。

【「自販機販売設置支援」

◆サントリーブ・バレッジ

9月分の売上の一部をご寄付頂きました。(一本あたり1円〜10円が寄付されます。)

全労済宮城推進本部

1,252円

銅谷建設(株) 亘理ありのま

ま舎建設工事現場

574円

ありのまま会(自立ホーム難

病ホスピス・泉南)

12,959円

◆株式会社ミチノク

新たに自販機設置支援でご協力をいただきことになりました。(一本あたり5円が寄付されます。)

寺嶋建設工業株式会社

(2ヶ所)

3,675円

ありがとうございました。

当クリニックは、難病ホスピス太白ありのまま会・自立ホーム仙台ありのまま会の入居者の健康をサポートしています。

茂庭台

ないとうクリニック

院長 内藤 久実子

〈診療科目〉 ● 内科 ● 小児科

電話 (022) 281-5490

診療時間

- ◆月~木曜日
午前 9:00~12:00
午後 3:00~ 5:30
- ◆金曜日
午前 9:00~12:00
午後 3:00~ 4:45
- ◆土曜日
午前 9:00~12:00
- ◆休診日 日曜日・祝日

※ 診療時間については、お問い合わせ下さい

駐車場有り

仙台市太白区茂庭台3丁目30-30